



公益財団法人

電気通信普及財団

The Telecommunications Advancement Foundation

電気通信普及財団レポート2022



CONTENTS

電気通信普及財団レポート 2022

1. 理事長からのご挨拶	4
2. 助成・援助活動	5
1 研究調査助成	5
2 海外研究・特別講義開設援助	10
(1) 特別講義開設援助	10
(2) 長期海外研究援助	11
(3) 海外渡航旅費援助	11
3 普及・利用促進活動援助	12
(1) シンポジウム・セミナー等開催援助	12
(2) 学術研究出版助成	14
(3) 国際交流人材育成援助	15
(4) ネット社会課題対応援助	15
3. 表彰事業	16
電気通信普及財団賞の概要	
第37回電気通信普及財団賞 受賞著書・論文	
・テレコム社会科学賞	
・テレコムシステム技術賞	
・テレコム学際研究賞	
・テレコム社会科学学生賞	
・テレコムシステム技術学生賞	
・テレコム学際研究学生賞	
第37回 電気通信普及財団賞贈呈式 / 2021年度 助成、援助金贈呈式	25
4. これまでの活動実績	32
5. 決算報告	34
(1) 貸借対照表	
(2) 正味財産増減計算書	
6. 2022年度 役員、評議員及び審査委員名簿	36
理事・監事・評議員・審査委員	

1. 理事長からのご挨拶

公益財団法人 電気通信普及財団 理事長 秋本 芳徳

日頃より私ども電気通信普及財団の活動をご理解、ご支援いただいている皆様に深く感謝申し上げます。

当財団は1984年9月に電電公社（現NTT）からの出捐を受け、郵政大臣の許可を受けて設立されました。2013年4月には内閣総理大臣の認定を受け公益財団法人に移行しております。

設立以来37年にわたって公募による助成援助及び表彰事業を行い、2021年度末までに電気通信普及財団賞は838件、約2.6億円の賞金を贈呈し、研究調査助成及び援助事業は9,034件で、約88.8億円の助成・援助金を贈呈してまいりました。

2021年度には、表彰事業である電気通信普及財団賞に新たにテレコム学際研究部門を設けました。開始初年度は、テレコム学際研究賞として38点を審査し7点を表彰、テレコム学際研究学生賞として9点を審査し5点を表彰しました。情報通信分野における学際研究は今後益々重要性が増すことから、その後押しができればと考えております。

公募による助成援助事業全体では、2021年度においても新型コロナ禍の影響を引き続き受けながらも、前年度と同水準の112件、1.6億円を採択いたしました。

財団の助成援助金を有効に活用していただき、その成果がICTを活用する社会と経済の健全な発展に寄与することを期待しております。

電気通信普及財団賞、助成援助の選考に当たりましては審査委員長はじめ各審査委員、表彰専門部会委員の皆様のご多大なご尽力を賜りましたことに、改めて御礼申し上げます。

情報通信、ICTは、社会経済の効率化からIoT、ビッグデータを活用した社会的課題の解決や価値の創造への寄与へと、今後の社会、経済の発展に欠くことのできない存在となっています。今般の新型コロナ禍のもたらした緊急事態という未曾有の状況において、人々の移動と対面でのコミュニケーションが著しく制限されざるを得ない中、情報通信はテレワークなどにより経済社会活動を支え、社会全体の課題の把握と解決策に大きく寄与することが示されました。

当財団は、公益財団としての使命を果たし、ICT分野における優れた研究に対しての表彰、研究調査助成、各種援助など、これまでの活動をさらに推進させていくことはもとより、今後のICTの進展が社会経済にもたらす様々な変化に対応し、微力ながら我が国社会経済の健全な発展に、より一層寄与していきたいと思っております。

今後とも、私ども電気通信普及財団の活動に対しまして、皆様のご指導ご鞭撻をお願いいたします。

2022年7月

2. 助成・援助活動

1 研究調査助成 [援助期間] 2022年4月～2023年3月

(概要)

2021年度募集の研究調査助成については、申込件数は131件、申込額は2億2294万円の新規助成申込があった。

審査委員会による審査を経て、新規申込のうち60件、1億403万円が助成案件として採択された。内訳は、人文学・社会科学分野では、17件、2281万円、技術分野では、24件、4263万円、両分野にわたる研究では、19件、3859万円となっている。

また、過年度採択の継続分として、19件、2060万円の助成が認められ、全体では、79件、1億2463万円が2021年度の助成案件として採択された。

申込件数はコロナ禍前から半減した前年から+3件の微増となり、採択率は前年同様に平年より高い水準となった。コロナ禍による苦境の中でも、コロナ禍にむしろ積極的に対応するなど、質の高い意欲的な申込があり、ポストコロナにおいても集合や移動を伴わず、人手もかけない新たな研究スタイルは定着してゆくものと思われる。

採択された調査研究のテーマは多岐にわたるが、今後求められる次世代通信システムを支える要素技術の研究、ソーシャルメディアが社会システムに及ぼす影響や、情報通信手段をパンデミック対策・防災や情報セキュリティ、教育などの今日の重要課題解決に役立て、応用するための研究などが数多く含まれている。

人文学・社会科学分野

〈敬称略〉

合計 25件 30,760千円

所属・氏名	調査研究テーマ	助成金額 (千円)
小樽商科大学 商学部経済学科 教授 松本 朋哉	コロナ禍の途上国貧困層の暮しと復興過程：モバイルマネーを通じた家族の繋がりの検証(延長)	2,997
名古屋産業大学 現代ビジネス学部経営専門職学科 准教授 今永 典秀	オンライン環境での共創空間の可能性-Cue Dream PJにおける実証研究-	2,000
目白大学 社会学部・社会情報学科 准教授 内田 康人	新型コロナウイルス・ワクチン接種の意思決定におけるネットメディア・ソーシャルメディアの利用とその影響	1,520
佛教大学 教育学部 教育学科 教授 佐藤 和順	スマホを用いた「孤育て」解消に関する研究	1,428
中央大学 文学部社会情報学専攻 兼任講師 鈴木 亜矢子	位置情報共有アプリの利用をめぐる日本の若者の親密圏と移動圏に関する調査研究	900
玉川大学 脳科学研究所 嘱託研究員 山田 順子	SNS上における非友好的リプライ行動の解明：社会ネットワーク形成の観点から	1,871

所属・氏名	調査研究テーマ	助成金額 (千円)
京都大学 大学院教育学研究科 助教 藤村 達也	通信教育における学習意欲の加熱メカニズムに関する比較メディア論的研究	550
国立大学法人筑波大学 システム情報工学研究科 博士後期課程 倪 少文	インターネットを介する共同消費と社会関係資本の関連における日米中の比較研究	1,936
大阪大学 大学院人間科学研究科 博士後期課程三年生 劉 文娟	デジタル機器・サービスと注意・認知：ディストラクションと創造性への影響	682
早稲田大学 社会科学総合学院 先端社会科学研究所 助教 渡部 春佳	地方議会議事録の統合と利活用に関する社会情報学的研究（延長）	652
筑波大学 人間系 助教 田中 崇恵	オンライン動画カウンセリングに関する実証的研究：対面カウンセリングとの比較から	1,700
東京女子大学 現代教養学部 国際社会学科 国際関係専攻 専任講師 西村 もも子	情報通信技術の発展と輸出入管理をめぐる国際政治：自由競争の推進と安全保障の実現	640
筑波大学 図書館情報メディア系 助教 高良 幸哉	SNS上の医療フェイクニュース規制についての調査研究	697
聖和学園短期大学 保育学科 准教授 上村 裕樹	子育ての社会化を図るための保育ICT”の活用	2,430
東京大学 大学院新領域創成科学研究科・自然環境学専攻 講師 中村 和彦	森林音のエンタテインメント性を向上させる音楽演奏とインターネット配信	807
関西大学 社会学部 教授 富田 英典	モバイル通信社会と時間感覚の変容に関する社会学的研究	1,500
信州大学 学術研究院教育学系 教授 島田 英昭	学校防災マニュアルのクラウド化とその普及—特別支援学校を事例として—	500
信州大学 人文学部 社会心理学分野 准教授 松本 昇	精神疾患の心理メカニズムを特定するオンラインアセスメントツールの開発	1,000
名古屋大学 アジア共創教育研究機構 教授 林 秀弥	ICTを活用したコミュニティ防災と防災法制に関する研究—台風19号等を踏まえて—	400
九州大学 アジアオセアニア研究教育機構 講師 横田 文彦	アジア高齢化社会に必要な遠隔予防医療サービスの効果検証研究	900
大阪大学 大学院人間科学研究科 教授 三浦 麻子	「オンライン脱抑制」再考：心理尺度作成とメカニズムの検証	1,250
東洋大学 法学部法律学科 専任講師 根岸 謙	分散型台帳任意後見システム構築上の法学および情報通信学の問題の検討と実装への試み	1,210
筑波大学 人間系 助教 菅原 大地	テラーメイド復職支援アプリケーションの開発と効果検証	1,100
山形大学 人文社会科学部 准教授 小林 正法	オンライン心理学実験・調査環境の構築と検証：本邦での普及を目指して	750
東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加と地域保健研究チーム 研究員（主任） 村山 陽	単身中高年者の社会的孤立予防に向けた世代間オンラインコミュニケーションの検討	1,340

技術分野

〈敬称略〉

合計 32 件 52,302 千円

所属・氏名	調査研究テーマ	助成金額 (千円)
東北工業大学 工学部情報通信工学科 講師 グエン ヴァンドウック	クロスレイヤによるマルチユーザー向け全天周映像伝送システムの実装と評価	770
室蘭工業大学 大学院工学研究科 文部科学省卓越研究員(助教) 李 鶴	災害に強いIoTシステムの研究開発	1,500
慶應義塾大学 電気情報工学科 専任講師 吉岡 健太郎	新規アナログ回路技術を用いたインメモリ演算回路の研究	1,000
同志社大学 理工学部電気工学科 准教授 鈴木 将之	拡張Mamyshev信号再生法を利用した新奇光パルス形成技術の確立	3,000
大阪府立大学 大学院 工学研究科 電気情報系専攻 助教 江 易翰	RISを用いたOTA連合学習における省エネ技術の開発	1,200
宇都宮大学 工学部基盤工学科 助教 小島 駿	Faster-than-Nyquist伝送における高精度な通信環境推定手法の開発	2,970
東京電機大学 システムデザイン工学部 デザイン工学科 准教授 齋藤 健太郎	ロボット・ドローンによる無線ネットワークの管理手法	1,500
独立行政法人国立高等専門学校機構都城工業高等専門学校 電気情報工学科 助教 迫田 和之	大容量無線通信に用いる新たなBP信号検出へのDNNを用いた学習の応用	900
立命館大学 理工学部・電気電子工学科 教授 瀧口 浩一	可変容量光OFDM信号用波長選択スイッチに関する研究	2,415
東京工業大学 科学技術創成研究院未来産業技術研究所 助教 李 尚擘	リモートワークセキュリティ強化のためのマルチバンド5G電波遮蔽シートの研究	1,500
福岡工業大学 工学部・電子情報工学科 助教 田村 瞳	Society5.0実現のためのIoT/CPSにおけるアプリケーション・トラヒックの特性分析と推定	1,500
国立大学法人京都大学 大学院工学研究科マイクロエンジニアリング専攻 教授 土屋 智由	物理リザーブを内包した周波数変調型加速度センサによる知能化IoT端末	2,667
芝浦工業大学 工学部電子工学科 准教授 プレーマチャンドラ チンタカ	全方位可視光通信の実現によりCOVID患者用車椅子の赤外線フリー全方位遠隔操作	2,200
長野工業高等専門学校 電子制御工学科 教授 中山 英俊	超低損失多層同軸ケーブル開発に向けた透磁率測定装置用の外部磁場印加システムの開発	1,500
九州大学 大学院 システム情報科学研究科 情報学部門 教授 櫻井 幸一	深層学習を用いた人工知能暗号システムの設計と解析	2,106

所属・氏名	調査研究テーマ	助成金額 (千円)
日本大学 理工学部航空宇宙工学科 准教授 山崎 政彦	超小型衛星群による全世界対応早期津波予測システムの概念設計	3,000
湘南工科大学 工学部 電気電子工学科 講師 宗 秀哉	周波数共用システム実現を目指したスペクトラムセンシング技術	2,320
北海道大学 大学院工学研究院・応用物理学部門 助教 迫田 将仁	サイズ効果モット絶縁体を利用した低エネルギー FETの開発	1,500
長崎大学 大学院工学研究科 技術専門職員 山下 優	異常肺音識別における音響モデル学習のためのデータベース拡張法の検討	453
奈良先端科学技術大学院大学 情報科学領域 助教 中畑 裕	時間変化を考慮したネットワーク信頼性評価	1,081
秋田工業高等専門学校 創造システム 工学科電気・電子・情報系 教授 伊藤 桂一	高誘電率誘電体線路を用いた次世代ミリ波通信用小型広帯域アンテナシステムの開発	750
早稲田大学 情報生産システム研究科 准教授 高畑 清人	多モード干渉光導波路を用いた光論理ゲートの研究	1,200
東京大学大学院 工学系研究科電気系工学専攻 助教 大西 亘	機械学習とシステム同定の橋渡しによる繰り返し学習制御の新展開(延長)	2,600
法政大学 理工学部・電気電子工学科 教授 岡本 吉史	電動化車両の電磁環境性能向上に資する電磁シールドの超軽量・高剛性・多周波化設計	3,000
東京工業大学 工学院・電気電子系 准教授 タン ザカン	ミリ波搭載ドローン基地局群による臨時型超高速・低遅延通信網の構築に関する研究調査	1,000
埼玉大学 理工学研究科 助教 菅野 円隆	レーザを用いたリザーバコンピューティングの多機能化と高性能化	870
名古屋工業大学 大学院工学研究科 准教授 田中 雅章	強磁性絶縁体薄膜のトンネル電子を利用した半導体へのスピン注入の研究	1,080
近畿大学 理工学部・応用化学科 准教授 今井 喜胤	高度暗号通信システムを指向した次世代円偏光発光子-発生デバイスの開発	3,000
北海道大学 農学研究院連携研究部門 准教授 加藤 知道	人工衛星データを利用した我が国の森林炭素蓄積量を推定するための機械学習モデル開発	600
富山県立大学 工学部 知能ロボット工学科 講師 佐保 賢志	電波センシングを用いた動作に基づく個人特定技術	900
長崎大学 情報データ科学部 准教授 宮島 洋文	セキュアマルチパーティ計算を用いたエッジシステムに対する機械学習法の開発	920
福知山公立大学 情報学部 講師 河合 宏紀	絹織物の3Dアニメーションデジタルアーカイブと感性検索システムの開発	1,300

人文学・社会科学、技術の両分野にわたる研究

〈敬称略〉

合計 22 件 41,567 千円

所属・氏名	調査研究テーマ	助成金額 (千円)
国立研究開発法人理化学研究所 情報統本部・ガーディアンロボットプロジェクト・心理プロセス研究チーム 研究員 難波 修史	仮想空間社会の実現に向けた表情データベースの構築および表情検出システムの開発	1,250
(独)国立高等専門学校機構 鶴岡工業 高等専門学校 創造工学科 准教授 伊藤 卓朗	デジタル技術を駆使した地域”食”循環エコシステム:鴨生産モデルの立ち上げ	3,000
公立小松大学 生産システム学部生産システム科学科 准教授 梶原 祐輔	高齢ドライバーのDynamic steering skillsを評価するためのシミュレータの開発	2,178
長崎県立大学 情報システム学部情報セキュリティ学科 教授 穴田 啓晃	匿名性・追跡可能性・説明責任性を両立するデジタル署名とプライバシー保護の枠組の設計(延長)	1,122
東京都市大学 メディア情報学部・情報システム学科 教授 市野 順子	バーチャル空間で親密な人間関係の形成を促すためのノンバーバルキューの提示方法	2,500
東海大学 工学部土木工学科 准教授 鈴木 美緒	交通ナビゲーションの情報量と自転車・自動車の運転負荷の関連性	2,900
岩手県立大学大学院 ソフトウェア情報学研究所 学生(博士後期課程) 山下 園	ネットワークを介した協調作曲におけるアノテーションの利用可能性に関する研究	572
関西学院大学 工学部 教授 山本 倫也	ビッグデータ駆動型眼球運動トレーニングシステムの開発	3,000
北里大学病院 医学部救命救急医学 助教 服部 潤	119電話通報からの脱却を目指して:AI活用のためのデジタル視覚データ基盤の実証研究	1,225
筑波大学 システム情報系 助教 秋元 祐太郎	IoTデバイス向け非常用燃料電池の遠隔監視・制御技術の開発	1,100
電気通信大学 機械知能システム学専攻 助教 新竹 純	視覚刺激と触覚刺激による感情のリアルタイム制御と社会展開に関する研究調査	3,000
京都大学 大学院情報学科 特定助教 奥原 俊	オンラインと対面を横断するハイブリット型グループ学習支援に関する基盤技術の開発	2,400
東京海洋大学 学術研究院 海洋環境科学部門 准教授 吉田 毅郎	AIによる水中カメラ画像解析を用いた複合養殖生物のモニタリング	950
九州大学大学院 医学研究院精神病態医学 特任助教 田村 俊介	「ことばの鎖」に基づく音声明瞭度評価手法の確立	1,650
東京工業大学 工学院・電気電子系 助教 戸村 崇	自発的な水害対策を可能にする地球観測超小型衛星群の研究(継続)	3,000

所属・氏名	調査研究テーマ	助成金額 (千円)
茨城大学 大学院理工学研究科 准教授 笹井 一人	アバターとのギャップがもたらす空間的広がりに基づくオンラインコミュニケーション	2,464
東京理科大学 工学部・機械工学科 講師 橋本 卓弥	人間との対話の中で親近感を調整するロボットの社会的効果の調査	2,290
広島市立大学 情報科学研究科 准教授 梶山 朋子	購買活動中の視線情報と色彩情報に基づく感情推定と商品推薦提示	2,211
津田塾大学 大学院国際関係学研究科 国際関係論専攻 大学院後期博士課程 貝原 千馨枝	障害児にとって困難な英語学習をデジタル・ゲーミフィケーションする効果の実証研究	1,775
千葉大学大学院 工学研究院 建築学コース 准教授 林 和宏	スマートフォンとインターネットクラウドを活用した広域被災度判定システムの開発	1,000
甲南女子大学 看護リハビリテーション学部 看護学科 教授 松下 由美子	テレコミュニケーション環境における共感成立過程の解明	980
大阪工業大学 情報科学部 ネットワークデザイン学科 特任准教授 檜原 茂	ICT・IoT・AI技術による渡蟹養殖技術確立へ向けた実践的研究	1,000

2 海外研究・特別講義開設援助

(1) 特別講義開設援助 [開講期間] 2022年4月～2023年3月

(概要)

2021年度募集の特別講義開設援助については、新規2件、申込額約240万円の援助申込があり、審査委員会による審査を経て、新規1件、約120万円が援助案件として採択された。また、2020年度、2019年度採択案件の継続分として、3件233万円が認められ、全体では、4件、約353万円が2021年度の援助案件として採択された。

2021年度 特別講義開設援助 (2022年度開講)

[2022年4月1日～2023年3月31日の間に開講]

合計 4件 3,525千円

大学名	特別講義名	援助金額 (千円)
摂南大学	データサイエンス展開	1,195
金沢学院大学	「デジタル経済」	1,100
東京電機大学	Field Based Learning I、II	930
敬和学園大学	専門家・実務家に学ぶ地域における情報メディアを活用したコンテンツ創出とそのプロデュース	300

(2) 長期海外研究援助 [渡航開始] 2021年10月～2022年9月

(概要)

2021年度募集の長期海外研究援助については、1件、申込額349万円の援助申込があり、審査委員会による審査を経て1件、申込額349万円の援助案件として採択された。

2021年度 長期海外研究援助対象者

〈敬称略〉

[研究開始時期は2021年10月1日～2022年3月31日]

1名 32,000米ドル

申込者	研究テーマ、受入れ機関等	援助金額 (米ドル)
香川大学 創造工学部 情報通信コース 助教 李 鯤	60GHz 無線ボディエリアネットワークの動的環境における設計および電磁両立特性評価 フランス：フランス科学院 (CNRS) IETR 研究所・生物医学電磁気学グループ Institute of Electronics and Digital Technologies (IETR) / National Center for Scientific Research (CNRS) Electromagnetic Waves in Complex Media (WAVES) Team Maxim Zhadobov, Professor 2022年4月 2023年3月	32,000

(3) 海外渡航旅費援助 [渡航期間] 2021年5月～2022年8月

(概要)

2021年度募集の海外渡航旅費援助については、申込が3件、申込額約38万円の援助申込があり、審査委員会による審査を経て、2件、約9万円が2021年度の援助案件として採択された。

新型コロナ禍の影響のため、採択件数は低水準にとどまった。

2021年度 海外渡航旅費援助実績

[会議開催時期は2021年5月1日～2022年8月31日]

合計 2件 86千円

申込時期	援助件数	援助金額 (千円)
4月期	1	20
6月期	0	0
8月期	1	66
10月期	0	0
12月期	0	0
2月期	0	0

3 普及・利用促進活動援助

(1) シンポジウム・セミナー等開催援助 [実施期間] 2021年10月～2023年3月

(概要)

2021年度のシンポジウム・セミナー等開催援助については、学術分野と社会貢献分野の合計で、25件、約2379万円の援助申込があり、19件、約1809万円が採択された。

採択件数は昨年度から+5件、約539万円増となった。

① シンポジウム・セミナー等開催援助 (学術分野)

(概要)

シンポジウム・セミナー等開催援助 (学術分野) については、2021年度5月期及び11月期に募集を行い、21件、申込額2000万円の援助申込があり、審査委員会による審査を経て、15件、1430万円が2021年度の援助案件として採択された。

2021年度5月期 シンポジウム・セミナー等開催援助 (学術分野) <敬称略>

合計 5件 4,900千円

代表者氏名	会議等名称	援助金額 (千円)
AsiaCCS2022 実行委員長 櫻井 幸一 (九州大学・教授)	The 17th ACM Asia Conference on Computer and Communications Security (AsiaCCS2022)	1,000
WCCE2021運営委員会 委員長 齋藤 俊則 (星槎大学大学院・准教授)	The 12th World Conference on Computers in Education 2022 (WCCE2022)	1,000
EDUsummit2022 緒方広明 (京都大学学術情報メディアセンター教授)	EDUsummit2022 (教育における情報通信技術に関する国際サミット2022)	1,000
BioEM 2022現地組織委員会 委員長 王 建青 (名古屋工業大学大学院・教授)	2022年国際生体電磁気学会および欧州生体電磁気学会合同年次大会	1,000
電子情報通信学会 通信ソサイエティ 第三種研究専門委員会 革新的無線通信技術に関する横断型研究専門委員会 専門委員長 菊間 信良 (名古屋工業大学教授)	革新的無線通信技術に関する横断型研究会 Multiple Innovative Kenkyu-kai Association for wireless communications (MIKA2021)	900

2020年度11月期 シンポジウム・セミナー等開催援助 学術分野 <敬称略>

合計 10件 9,400千円

代表者氏名	会議等名称	援助金額 (千円)
学校法人早稲田大学 早稲田大学教授 森島 繁生	CGKyoto2022	1,000

代表者氏名	会議等名称	援助金額 (千円)
27th OptoElectronics and Communications Conference (2022) 運営委員会 委員長 有賀 博	27th Optoelectronics and Communications Conference / International Conference on Photonics in Switching and Computing 2022	1,000
AIM2022実行委員会 実行委員長 新妻 実保子	2022 IEEE/ASME International Conference on Advanced Intelligent Mechatronics (AIM)	1,000
第28回半導体レーザ 国際会議組織委員会 組織委員長 粕川 秋彦	第28回半導体レーザ国際会議	1,000
IWSEC2022 委員長 伊豆 哲也	第17回セキュリティ国際ワークショップ	900
第13回フォトニック結晶 国際シンポジウム組織委員会 組織委員長 岩本 敏	第13回フォトニック結晶国際シンポジウム	1,000
ICMLC&ICWAPR2022 実行委員会 実行委員長 高木 昇	2022年ICMLC&ICWAPR国際会議	1,000
一般社団法人電子情報通信学会 通信ソサイエティ会長 葉玉 寿弥	2022 International Conference on Emerging Technologies for Communications	1,000
ACM Multimedia Asia 2022 実行委員会 実行委員長 柳井 啓司	ACM Multimedia Asia 2022	1,000
iWEM2022 実行委員会 教授 長 敬三	2022年米国電気電子学会 電磁界に関する国際ワークショップ (応用とイノベーションコンペ) (iWEM2022)	500

② シンポジウム・セミナー等開催援助（社会貢献分野）

（概要）

シンポジウム・セミナー等開催援助（社会貢献分野）については、2021年度5月期及び11月期に募集を行い、4件、申込額約379万円の援助申込があり、審査委員会による審査を経て、4件、約379万円が2021年度の援助案件として採択された。

2021年度5月期 シンポジウム・セミナー等開催援助 社会貢献分野

〈敬称略〉

合計 1 件 1,000 千円

代表者氏名	会議等名称	援助金額 (千円)
CYDEF2021 実行委員長 田中達浩 (富士通システム統合研究所安全保障研究所 主任研究員)	国際サイバーディフェンスカンファレンス CYDEF2021	1,000

2021年度11月期 シンポジウム・セミナー等開催援助 社会貢献分野 〈敬称略〉

合計 3件 2,786千円

代表者氏名	会議等名称	援助金額 (千円)
一般社団法人日本スマートフォンセキュリティ協会 会長 佐々木 良一	若年層向け「スマホ・SNSを安心・安全に使うための セーフティ教室」	1,000
一般社団法人学校地域協働センターラポールくし ろ 代表理事 幸村 仁	社会的DX × 教育DX が地域創生の起爆剤となる	786
日本教育工学協会 会長 野中 陽一	第48回全日本教育工学研究協議会全国大会愛知・春 日井大会	1,000

(2) 学術研究出版助成 [出版時期] 2021年10月～2022年9月

(概要)

学術研究の成果を公表するための書籍の出版を助成する学術研究出版助成については、2021年度は3件、536万円の助成申込があり、審査委員会による審査を経て、3件456万円が2021年度の助成案件として採択された。

2021年度 学術研究出版助成 〈敬称略〉

合計 3件 4,560千円

申込者 所属・役職・氏名	単著/ 共著	書名	助成額 (千円)
金沢大学大学院 人間社会環境研究科 博士後期課程3年 片山 千枝	単著	なぜ青年期女子はインターネットを介した出会いを実現するの か	1,560
琉球大学大学院法務研究科 法務専攻 教授 井上 禎男	単著	放送行政の課題——日仏比較法研究	1,000
神戸大学人間発達環境学研究科 教授 田畑 暁生	単著	「平成の大合併」と地域情報化政策	2,000

(3) 国際交流人材育成援助 [援助期間] 2022年4月～2023年3月

(概要)

2021年度募集の国際交流人材育成援助については、新規1件、継続1件、申込額255万円の援助申込があり、審査委員会による審査を経て1件、155万円が2021年度の援助案件として採択された。

2021年度 国際交流人材育成援助

〈敬称略〉

合計 1 件 1,550 千円

代表者氏名	事業名称	援助金額 (千円)
鹿児島工業高等専門学校 校長 氷室 昭三	マレーシア工科大学及び鹿児島高専における IoT・AI (機械学習) トレーニング (新規3年プロジェクト)	1,550

(4) ネット社会課題対応援助 [援助期間] 2022年4月～2023年3月

(概要)

2021年度募集のネット社会課題対応援助については、新規1件、継続2件、申込額600万円の援助申込があり、審査委員会による審査を経て、3件、600万円が2021年度の援助案件として採択された。

2021年度 ネット社会課題対応援助

〈敬称略〉

合計 3 件 6,000 千円

申込み機関 (大学、高等専門学校等)	事業の名称	援助金額 (千円)
国際高等専門学校	能登の里山に通信の恩恵を	2,000
公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所	ポストコロナ時代におけるオープンデータ高度利活用促進人材プラットフォーム構築事業	2,000
関西大学	情報(ネット)社会における新しい観光振興モデル(メタ観光)の構築～島根県大田市の多層的な観光資源と情報通信技術活用を事例に	2,000

3. 表彰事業

電気通信普及財団賞（第37回）

（概要）

電気通信普及財団賞（第37回）については、本年度より新設した学際研究部門を含め161件の著作や論文が選考対象となり、表彰専門部会による審査を経て、最優秀賞・入賞16件、奨励賞・特例表彰22件、合計で前年度を13件上回る38件が受賞となった。

電気通信普及財団賞（第37回）の贈呈式が2022年3月16日に、帝国ホテルにおいて、ハイブリッド方式で実施された。

第37回 電気通信普及財団賞 受賞著作・論文

〈順不同、敬称略〉

※所属・役職は受賞時のもの。執筆時・投稿時の所属・役職を（ ）内に示す。

(1) テレコム人文学・社会科学賞

（概要）

テレコム人文学・社会科学賞には、30件の応募があり、その中から、入賞（本賞）1件、奨励賞4件が受賞となった。

[入賞]

「未来技術の倫理：人工知能・ロボット・サイボーグ」

（書籍発刊：勁草書房，2020年12月）

河島 茂生 青山学院女子短期大学 准教授

[奨励賞]

「電子投票と日本の選挙ガバナンス—デジタル社会における投票権保障」

（書籍発刊：慶應義塾大学出版会，2021年9月）

河村 和徳 東北大学 大学院情報科学研究科 准教授

「歴史認識問題とメディアの政治学—戦後日韓関係をめぐるニュースの言説分析—」

（書籍発刊：勁草書房，2021年6月）

三谷 文栄 日本大学 法学部新聞学科 准教授

「人工知能に未来を託せますか？—誕生と変遷から考える」

（書籍発刊：岩波書店，2020年6月）

松田 雄馬 合同会社アイキューバタ 共同代表

「サイバーセキュリティと刑法—無権限アクセス罪を中心に」

(書籍発刊：有斐閣, 2020年9月)

西貝 吉晃 千葉大学 大学院専門法務研究科 准教授

(2) テレコムシステム技術賞

(概要)

テレコムシステム技術賞には、46件の応募・推薦があり、その中から、入賞(本賞)5件、奨励賞3件が受賞となった。

[入賞]

「Scalable and Fast Optical Circuit Switch based on Colorless Coherent Detection: Design Principle and Experimental Demonstration」

(IEEE/OSA, Journal of Lightwave Technology, 2021年4月)

松本 怜典	国立研究開発法人産業技術総合研究所 プラットフォームフォトニクス 研究センター 光ネットワーク研究チーム 研究員
井上 崇	国立研究開発法人産業技術総合研究所 プラットフォームフォトニクス 研究センター 光ネットワーク研究チーム 研究チーム長
鴻池遼太郎	国立研究開発法人産業技術総合研究所 プラットフォームフォトニクス 研究センター フォトニクスシステム研究チーム 研究員
松浦 裕之	国立研究開発法人産業技術総合研究所 プラットフォームフォトニクス 研究センター フォトニクスシステム研究チーム 招聘研究員
鈴木恵治郎	国立研究開発法人産業技術総合研究所 プラットフォームフォトニクス 研究センター フォトニクスシステム研究チーム 主任研究員
森 洋二郎	名古屋大学 大学院工学研究科 情報・通信工学専攻 准教授
池田 和浩	国立研究開発法人産業技術総合研究所 プラットフォームフォトニクス 研究センター 研究チーム付
並木 周	国立研究開発法人産業技術総合研究所 プラットフォームフォトニクス 研究センター 研究センター長
佐藤 健一	国立研究開発法人産業技術総合研究所 プラットフォームフォトニクス 研究センター フォトニクスシステム研究チーム 招聘研究員

「Sub-1 GHz Frequency Band Wireless Coexistence for the Internet of Things」

(IEEE, IEEE Access, 2021年8月)

永井 幸政	三菱電機株式会社 情報技術総合研究所 情報ネットワークシステム技術部 インフラネットワーク技術グループマネージャー/ 静岡大学 創造科学技術大学院 情報科学専攻 博士後期課程3年
Guo Jianlin	Mitsubishi Electric Research Laboratories, Senior Principal Research Scientist
Orlik Philip	Mitsubishi Electric Research Laboratories, Deputy Director
角 武憲	三菱電機株式会社 情報技術総合研究所 情報ネットワークシステム技術部 インフラネットワーク技術グループ 専任
Rolf Benjamin	Mitsubishi Electric Research Laboratories, Consultant / Blind Creek Associates, CEO
峰野 博史	静岡大学 学術院情報学領域 教授

「Feature-Based Correlation and Topological Similarity for Interbeat Interval Estimation Using Ultrawideband Radar」

(IEEE, IEEE Transactions on Biomedical Engineering, 2016年4月)

阪本 卓也	兵庫県立大学 大学院工学研究科 准教授
今坂 良平	京都大学 大学院情報学研究科 修士課程2年
瀧 宏文	東北大学 大学院医工学研究科 講師
佐藤 亨	京都大学 大学院情報学研究科 教授
吉岡 元貴	パナソニック株式会社 先端研究本部 主任研究員
井上 謙一	パナソニック株式会社 先端研究本部 主任研究員
福田 健志	パナソニック株式会社 先端研究本部 主任研究員
酒井 啓之	パナソニック株式会社 先端研究本部 主幹研究員

「Software-Based Time-Aware Shaper for Time-Sensitive Networks」

(電子情報通信学会, IEICE Transactions on Communications, 2020年3月)

オゲ ヤースィン	株式会社東芝 研究開発センター コンピュータ&ネットワークシステム ラボラトリー 研究主務
小林 優太	株式会社東芝 研究開発センター コンピュータ&ネットワークシステム ラボラトリー 研究主務
山浦 隆博	株式会社東芝 研究開発センター コンピュータ&ネットワークシステム ラボラトリー 研究主務
前川 智則	株式会社東芝 研究開発センター コンピュータ&ネットワークシステム ラボラトリー 主任研究員

「Detectability of Breast Tumor by a Hand-held Impulse-Radar Detector: Performance Evaluation and Pilot Clinical Study」

(Nature, Scientific Reports, 2017年11月)

宋 航	広島大学 ナノデバイス・バイオ融合科学研究所 博士後期課程3年
笹田 伸介	広島大学病院 乳腺外科/広島大学 原爆放射線医科学研究所 腫瘍外科 助教
角舎 学行	広島大学病院 乳腺外科/広島大学 原爆放射線医科学研究所 腫瘍外科 診療准教授
岡田 守人	広島大学病院 呼吸器外科/広島大学 原爆放射線医科学研究所 腫瘍外科 教授
有廣 光司	広島大学病院 病理診断科 教授
Xiao Xia	天津大学 微電子学院 教授
吉川 公磨	広島大学 ナノデバイス・バイオ融合科学研究所 特任教授

[奨励賞]

「Shape Control of Discrete Generalized Gaussian Distributions for Frequency-Domain Audio Coding」

(IEEE/ACM, IEEE/ACM Transactions on Audio, Speech, and Language Processing, 2019年12月)

杉浦 亮介	NTT コミュニケーション科学基礎研究所 研究員
鎌本 優	NTT コミュニケーション科学基礎研究所 主任研究員
守谷 健弘	NTT コミュニケーション科学基礎研究所 特別研究室長

「BusBeat: Early Event Detection with Real-Time Bus GPS Trajectories」

(IEEE, IEEE Transactions on Big Data, 2021年6月)

青木 俊介	カーネギーメロン大学	Ph.D. Candidate
瀬崎 薫	東京大学	空間情報科学研究センター 教授
Nicholas Jing Yuan	Microsoft Research Asia	Associate Researcher
Xing Xie	Microsoft Research Asia	Senior Researcher

「Tackling Biased PUFs Through Biased Masking: A Debiasing Method for Efficient Fuzzy Extractor」

(IEEE, IEEE Transactions on Computers, 2019年7月)

上野 嶺	東北大学	電気通信研究所 助教
鈴木麻奈美	東北大学	大学院情報科学研究科 修士2年
本間 尚文	東北大学	電気通信研究所 教授

(3) テレコム学際研究賞

(概要)

テレコム学際研究賞には、38件の応募・推薦があり、その中から、入賞（本賞）3件、奨励賞2件、特例表彰2件が受賞となった。

[入賞]

「Controlled Document Authoring in a Machine Translation Age」

(書籍発刊: Routledge, 2020年10月)

宮田 玲	名古屋大学	大学院工学研究科 助教
------	-------	-------------

「Gaze awareness and metacognitive suggestions by a pedagogical conversational agent: an experimental investigation on interventions to support collaborative learning process and performance」

(Springer, International Journal of Computer-Supported Collaborative Learning, 2020年12月)

林 勇吾	立命館大学	総合心理学部 准教授
------	-------	------------

「Measuring "Nigiwai" From Pedestrian Movement」

(IEEE, Access, 2021年2月)

Mohamed A. Abdelwahab	九州大学	持続的共進化地域創成拠点 学術研究員
鍛冶 静雄	九州大学	マス・フォア・インダストリ研究所 教授
堀 磨伊也	九州大学	エネルギー研究教育機構 准教授
高野 茂	九州大学	持続的共進化地域創成拠点 准教授
荒川 豊	九州大学	大学院システム情報科学研究院 教授
谷口倫一郎	九州大学	理事・副学長

[奨励賞]

「Dynamic Hawkes Processes for Discovering Time-evolving Communities' States behind Diffusion Processes」

(KDD 2021 (27th ACM SIGKDD International Conference on Knowledge Discovery & Data Mining), 2021年8月)

大川 真耶	NTT サービスエボリューション研究所 研究員
岩田 具治	NTT コミュニケーション科学基礎研究所 特別研究員
田中 佑典	NTT コミュニケーション科学基礎研究所 研究員
戸田 浩之	NTT サービスエボリューション研究所 主幹研究員
倉島 健	NTT サービスエボリューション研究所 特別研究員
鹿島 久嗣	京都大学 大学院情報学研究科 知能情報学専攻 教授

「Unconscious Reinforcement Learning of Hidden Brain States Supported by Confidence」

(Macmillan Publishers Limited, part of Springer Nature, Nature Communications, 2020年8月)

Aurelio Cortese	株式会社国際電気通信基礎技術研究所 脳情報通信総合研究所 脳情報研究所 行動変容研究室 主任研究員
Hakwan Lau	Professor, Department of Psychology, University of Hong Kong
川人 光男	株式会社国際電気通信基礎技術研究所 脳情報通信総合研究所 所長

[特例表彰]

「微小重力空間での定位：宇宙飛行士による当事者研究」

(未発表：東京大学大学院学位論文, 2020年3月)

野口 聡一	東京大学 工学系研究科先端学際工学専攻 非常勤助教
-------	---------------------------

「《小特集》 さようなら、意味のない暗号化ZIP 添付メール」

(情報処理学会, 情報処理, 2020年7月号別刷)

崎村 夏彦	NAT コンサルティング合同会社 代表
大泰司 章	合同会社PPAP 総研 代表
楠 正憲	国際大学 Glocom 客員研究員
上原哲太郎	立命館大学 情報理工学部 情報理工学科 教授

(4) テレコム人文学・社会科学学生賞

(概要)

テレコム社会科学学生賞には、9件の応募があり、その中から、奨励賞3件が受賞となった。

[奨励賞]

「No More Handshaking: How have COVID-19 pushed the expansion of computer-mediated communication in Japanese idol culture?」

(Proceedings of ACM CHI Conference on Human Factors in Computing Systems, 2021年5月)

矢倉 大夢 筑波大学 大学院理工情報生命学術院 システム情報工学研究群
知能機能システム学位プログラム 博士後期課程1年

「法とアーキテクチャによる非マッチング型プラットフォーム規制の在り方」

(未発表：学士論文)

高木 美南 九州大学 芸術工学部 芸術情報設計学科4年

「Collaborative consumption in China: An empirical investigation of its antecedents and consequences」

(Elsevier, Journal of Retailing and Consumer Services, 2021年9月)

倪 少文 筑波大学 大学院システム情報工学研究科 社会工学専攻 博士後期課程3年

(5) テレコムシステム技術学生賞

(概要)

テレコムシステム技術学生賞には、29件の応募があり、その中から、入賞6件、奨励賞4件が受賞となった。

[入賞]

「Integrated dual-polarization coherent receiver without a polarization splitter-rotator」

(OSA Publishing, Optics Express, 2021年1月)

相馬 豪 東京大学 工学系研究科 電気系工学専攻 修士課程1年
共著者 石村 昇太、田之村 亮汰、福井 太郎、伊藤 まいこ、中野 義昭、種村 拓夫

「Generalized Analysis of Load-Independent ZCS Parallel-Resonant Inverter」

(IEEE, IEEE Transactions on Industrial Electronics, 2022年1月)

駒中 綾乃 千葉大学 大学院融合理工学府 数学情報科学専攻 情報科学コース
博士前期課程2年

共著者 朱 聞起、魏 秀欽、Nguyen Kien、関屋 大雄

「Mapping-Aware Kernel Partitioning Method for CGRAs Assisted by Deep Learning」

(IEEE, IEEE Transactions on Parallel and Distributed Systems, 2021年8月)

小島 拓也 慶應義塾大学 大学院理工学研究科 後期博士課程2年

共著者 大和田 彩夏、天野 英晴

「Distillation-Based Semi-Supervised Federated Learning for Communication-Efficient Collaborative Training With Non-IID Private Data」

(IEEE, IEEE Transactions on Mobile Computing, 2021年3月)

板原 壮平 京都大学 情報学研究科 通信情報システム専攻 修士課程1年

共著者 西尾 理志、香田 優介、守倉 正博、山本 高至

「Image Restoration with Multiple Hard Constraints on Data-Fidelity to Blurred/Noisy Image Pair」

(IEICE, IEICE Transactions on Information and Systems, 2017年9月)

武山 彩織 東京工業大学 工学院情報通信系 修士課程2年

共著者 小野 峻佑、熊澤 逸夫

「WiNE-Tap: Wireless network emulator with wireless network TAP devices」

(Elsevier, Ad Hoc Networks, 2021年12月)

加藤 新良太 静岡大学 創造科学技術大学院 自然科学系教育部 博士後期課程3年

共著者 高井 峰生、石原 進

[奨励賞]

「Incremental Text-to-Speech Synthesis Using Pseudo Lookahead with Large Pretrained Language Model」

(IEEE, IEEE Signal Processing Letters, 2021年4月)

佐伯 高明 東京大学 大学院情報理工学系研究科 博士前期課程2年
共著者 高道 慎之介、猿渡 洋

「NOMA-Aided Probabilistic Cooperative Transmission for PC5-Based Cellular V2X Mode 4 for Crash Warning」

(IEEE, IEEE Access, 2021年4月)

平井 健士 名古屋大学 大学院情報学研究科 情報システム学専攻 博士後期課程3年
共著者 村瀬 勉

「Fully Automated Annotation With Noise-Masked Visual Markers for Deep-Learning-Based Object Detection」

(IEEE, Robotics and Automation Letters, 2019年4月)

清川 拓哉 奈良先端科学技術大学院大学 情報科学研究科 博士前期課程2年
共著者 友近 圭汰、高松 淳、小笠原 司

「Simultaneous Measurement of Contractile Force and Field Potential of Dynamically Beating Human iPS Cell-Derived Cardiac Cell Sheet-Tissue with Flexible Electronics」

(The Royal Society of Chemistry, Lab on a Chip, 2021年8月)

大矢 貴史 早稲田大学 創造理工学研究科 総合機械工学専攻 博士後期課程3年
共著者 大友 春輝、菊地 鉄太郎、佐々木 大輔、川村 洋平、松浦 勝久、清水 達也、
福田 憲二郎、染谷 隆夫、梅津 信二郎

(6) テレコム学際研究学生賞

(概要)

テレコム学際研究学生賞には、9件の応募があり、その中から、最優秀賞1件、奨励賞4件が受賞となった。

[最優秀賞]

「Cooperation patterns of members in networks during co-creation」

(Springer Nature, Scientific Reports, 2021年6月)

楊 鯤昊 東京大学 大学院総合文化研究科 博士課程後期課程3年
共著者 藤崎 樹、植田 一博

[奨励賞]

「Emotion-involved human decision-making model」

(Taylor & Francis, Mathematical and Computer Modelling of Dynamical Systems, 2021年10月)

飯沼 楓 電気通信大学 大学院情報理工学系研究科 機械知能システム学専攻 修士2年
共著者 小木曾 公尚

「Finding and Generating a Missing Part for Story Completion」

(The 4th Joint SIGHUM Workshop on Computational Linguistics for Cultural Heritage, Social Sciences, Humanities and Literature, 2020年12月)

森 友亮 東京大学 大学院情報理工学系研究科 博士後期課程5年
共著者 山根 宏彰、椋田 悠介、原田 達也

「知識構築活動におけるアイデア向上プロセス分析に基づく学習成果を向上させる条件」

(日本教育工学会, 日本教育工学会論文誌, 2021年6月)

川久保アンソニージェイ太稀 静岡大学 大学院総合科学技術研究科情報学専攻 修士課程2年
共著者 大島 純、大島 律子

「アルゴリズムの判断はいつ差別になるのか—COMPAS 事例を参照して」

(北海道大学大学院文学研究院応用倫理・応用哲学研究教育センター, 応用倫理, 2021年3月)

前田 春香 東京大学 大学院学際情報学府 博士後期課程1年
理化学研究所 革新知能統合研究センター (AIP)


公益財団法人 電気通信普及財団
第37回 電気通信普及財団賞 及び 2021年度 助成・援助金贈呈式

2022年3月16日（水） 開会 10時30分～ 帝国ホテル「桜の間」(本館4階) にてハイブリッド開催

贈呈式 次第

- | | | | |
|---|------------------|---|--------------------|
| 1 | 理事長挨拶 | 理事長 | 武内 信博 |
| 2 | 来賓挨拶 | 総務省総合通信基盤局長
日本電信電話株式会社経営企画部門
経営企画担当担当部長 | 二宮 清治 様
黒田 勝己 様 |
| 3 | 第37回電気通信普及財団賞関係 | | |
| | (1) 選考経過報告 | | |
| | ・テレコム人文学・社会科学部門 | | 多賀谷一照 表彰専門部会座長 |
| | ・テレコムシステム技術部門 | | 浅見 徹 表彰専門部会座長 |
| | ・テレコム学際部門 | | 廣松 毅 表彰専門部会座長 |
| | (2) 表彰状贈呈 | | |
| | ・テレコム人文学・社会科学賞 | | |
| | ・テレコム人文学・社会科学学生賞 | | |
| | ・テレコムシステム技術賞 | | |
| | ・テレコムシステム技術学生賞 | | |
| | ・テレコム学際研究賞 | | |
| | ・テレコム学際研究学生賞 | | |
| 4 | 2021年度助成援助関係 | | |
| | (1) 審査概況報告 | | 廣松 毅 審査委員長 |
| | (2) 助成・援助対象者披露 | | |
| 5 | 財団賞受賞者による講演 | | |
| | テレコム人文学・社会科学賞入賞 | | 河島 茂生 氏 |
| | テレコムシステム技術賞入賞 | | 松本 怜典 氏 |
| | テレコム学際研究賞入賞 | | 宮田 玲 氏 |

閉会

贈呈式の模様

第37回電気通信普及財団賞贈呈式 2021年度助成援助金贈呈式



電気通信普及財団 武内 信博 理事長(当時) 挨拶



総務省総合通信基盤局長 二宮 清治 氏
来賓挨拶



日本電信電話株式会社 理事 経営企画担当担当部長
黒田 勝己 氏 来賓挨拶



廣松 毅 表彰専門部会座長



会場の様子



会場の様子



テレコム人文学・社会科学賞
奨励賞 三谷 文栄 氏



テレコム人文学・社会科学賞
奨励賞 西貝 吉晃 氏



テレコムシステム技術賞
入賞 永井 幸政 氏



テレコムシステム技術賞
入賞 阪本 卓也 氏



テレコム学際研究賞
入賞 林 勇吾 氏



テレコム学際研究賞
入賞 鍛冶 静雄 氏



テレコム人文学・社会科学学生賞
奨励賞 矢倉 大夢 氏



テレコム人文学・社会科学学生賞
奨励賞 高木 美南 氏



テレコムシステム技術学生賞
入賞 駒中 綾乃 氏



テレコムシステム技術学生賞
入賞 加藤 新良太 氏



テレコム学際研究学生賞
奨励賞 森 友亮 氏



テレコム学際研究学生賞
奨励賞 前田 春香 氏



テレコム人文学・社会科学賞受賞者による講演
入賞 青山学院大学 河島 茂生 氏



テレコムシステム技術賞受賞者による講演
入賞 国立研究開発法人産業技術総合研究所 松本 怜典 氏



テレコム学際研究賞受賞者による講演
入賞 名古屋大学 宮田 玲 氏



テレコム人文学・社会科学賞 テレコム人文学・社会科学学生賞



テレコム学際研究賞・テレコム学際研究学生賞



テレコムシステム技術賞



テレコムシステム技術学生賞

4. これまでの活動実績

区分	西暦	研究調査助成		シンポジウム開催等への援助		特別講義開設援助		長期海外研究援助		海外渡航旅費援助	
		件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
昭和59年度	1984	29	66,600	—	—	—	—	—	—	—	—
昭和60年度	1985	59	121,740	11	40,500	3	8,700	—	—	23	9,550
昭和61年度	1986	77	143,761	18	56,268	6	21,370	—	—	32	12,050
昭和62年度	1987	79	107,600	24	49,900	8	29,690	—	—	30	12,400
昭和63年度	1988	68	95,428	9	22,500	13	43,020	2	7,632	44	16,135
平成元年度	1989	63	103,002	15	33,300	16	51,870	2	8,147	37	13,338
平成2年度	1990	69	101,929	14	31,700	17	49,482	4	13,718	75	28,340
平成3年度	1991	85	129,924	15	32,800	17	43,210	2	9,563	58	20,090
平成4年度	1992	96	140,500	23	41,404	13	36,740	4	14,358	138	45,540
平成5年度	1993	79	106,050	17	21,100	14	29,231	6	19,499	112	36,545
平成6年度	1994	105	120,500	26	33,300	13	26,920	6	24,211	191	63,493
平成7年度	1995	101	99,550	32	27,300	15	27,330	7	23,110	142	42,765
平成8年度	1996	109	102,810	26	20,600	13	28,720	7	22,280	173	46,240
平成9年度	1997	109	119,330	33	30,050	12	23,920	7	25,530	179	44,360
平成10年度	1998	102	111,440	35	32,575	14	27,120	6	20,440	194	48,840
平成11年度	1999	101	114,250	19	22,090	13	23,190	7	23,938	142	33,520
平成12年度	2000	92	107,589	19	18,680	15	23,935	6	20,310	189	43,680
平成13年度	2001	75	87,988	16	15,585	14	21,603	4	15,456	161	35,600
平成14年度	2002	68	74,150	21	14,600	14	20,562	3	11,592	110	23,370
平成15年度	2003	70	75,350	17	15,700	12	17,084	2	6,960	104	23,690
平成16年度	2004	69	75,380	15	12,488	6	8,251	3	8,960	102	24,040
平成17年度	2005	68	73,026	11	10,706	6	9,826	3	9,420	77	17,790
平成18年度	2006	67	72,594	9	6,700	5	7,883	3	10,350	77	16,680
平成19年度	2007	70	74,460	16	13,100	8	10,480	4	10,750	68	15,500
平成20年度	2008	76	68,147	8	7,539	6	6,642	3	10,771	77	17,060
平成21年度	2009	82	70,471	14	15,000	8	8,327	3	8,502	54	12,420
平成22年度	2010	83	74,852	9	10,000	6	7,296	1	2,634	45	10,410
平成23年度	2011	83	74,919	16	14,900	5	5,653	3	7,627	48	10,820
平成24年度	2012	78	67,928	14	13,900	1	1,626	2	5,918	54	12,910
平成25年度	2013	87	78,676	11	11,650	2	1,475	4	10,858	59	14,530
平成26年度	2014	85	77,390	12	13,600	2	1,284	1	2,456	58	14,455
平成27年度	2015	102	93,074	18	19,100	3	2,180	4	15,070	54	12,490
平成28年度	2016	148	142,496	13	14,200	6	4,609	1	3,258	48	11,316
平成29年度	2017	146	161,791	26	27,603	5	4,188	3	4,641	51	12,080
平成30年度	2018	117	163,838	18	17,460	14	11,588	4	10,918	35	8,341
令和元年度	2019	108	145,373	23	18,360	4	2,560	5	5,963	55	12,812
令和2年度	2020	82	129,830	14	12,700	4	2,870	0	0	8	995
令和3年度	2021	79	124,629	19	18,086	4	3,525	1	3,490	2	86
累計		3,266	3,898,365	656	817,044	337	653,960	123	398,330	3,106	824,281

注 この他過去に福祉機器の寄贈、図書・文献の寄贈、ボランティア援助、電気通信政策研究援助等の助成・援助実績がある。(1,513件：22.3億円)

金額単位：(千円)

国際交流人材育成援助		ネット社会課題対応援助		学術研究出版助成		表 彰		助成・援助・表彰合計	
件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
-	-	-	-	-	-	-	-	29	66,600
-	-	-	-	-	-	10	4,400	106	184,890
-	-	-	-	-	-	10	4,600	143	238,049
-	-	-	-	-	-	11	5,100	152	204,690
-	-	-	-	-	-	11	4,700	147	189,415
-	-	-	-	-	-	12	5,200	145	214,857
-	-	-	-	-	-	11	5,100	190	230,269
-	-	-	-	-	-	31	8,500	208	244,087
-	-	-	-	-	-	22	7,100	296	285,642
-	-	-	-	-	-	37	9,300	265	221,725
-	-	-	-	-	-	33	8,700	374	277,124
-	-	-	-	-	-	32	9,000	329	229,055
-	-	-	-	-	-	28	7,800	356	228,450
-	-	-	-	-	-	30	7,600	370	250,790
-	-	-	-	-	-	35	8,800	386	249,215
-	-	-	-	-	-	30	7,800	312	224,788
-	-	-	-	-	-	31	8,500	352	222,694
-	-	-	-	-	-	35	8,700	305	184,932
-	-	-	-	-	-	24	6,600	240	150,874
-	-	-	-	-	-	28	7,700	233	146,484
-	-	-	-	-	-	26	6,600	221	135,719
-	-	-	-	-	-	26	6,600	191	127,368
-	-	-	-	-	-	23	6,700	184	120,907
-	-	-	-	-	-	23	7,400	189	131,690
-	-	-	-	-	-	25	6,500	195	116,659
-	-	-	-	-	-	17	5,000	178	119,720
-	-	-	-	-	-	18	5,500	162	110,692
-	-	-	-	-	-	17	4,900	172	118,819
-	-	-	-	-	-	16	4,700	165	106,982
-	-	-	-	-	-	12	3,500	175	120,689
2	3,200	-	-	-	-	17	5,100	177	117,485
3	5,915	-	-	-	-	18	6,100	202	153,929
4	7,940	-	-	-	-	17	5,000	237	188,819
2	3,890	2	4,000	-	-	20	5,800	255	223,993
1	2,000	2	4,000	-	-	22	6,000	213	224,145
1	1,000	2	4,000	-	-	17	5,300	215	195,368
1	1,000	3	5,800	4	7,500	25	13,800	141	174,495
1	1,550	3	6,000	3	4,560	38	21,200	150	183,126
15	26,495	12	23,800	7	12,060	838	260,900	8,360	6,915,235

5. 決算報告

1. 貸借対照表 (3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	2021年度	2020年度	2019年度
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金・預金	344,230	367,550	375,751
未収金	9,020	12,675	16,916
その他	1,092	1,069	1,069
流動資産合計	354,341	381,294	393,736
2. 固定資産			
基本財産	11,643,634	11,566,867	10,611,466
特定資産	542,246	527,519	504,492
その他固定資産	9,414	10,730	13,220
固定資産合計	12,195,295	12,105,116	11,129,178
資産合計	12,549,636	12,486,411	11,522,914
II 負債の部			
1. 流動負債合計	144,836	147,331	163,012
2. 固定負債合計	36,605	23,989	26,900
負債合計	181,441	171,320	189,912
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	8,546,732	8,410,486	7,803,289
(うち基本財産への充当額)	(8,278,227)	(8,209,791)	(7,651,532)
(うち特定資産への充当額)	(268,506)	(200,694)	(151,757)
2. 一般正味財産	3,821,462	3,904,605	3,529,713
(うち基本財産への充当額)	(3,365,407)	(3,357,076)	(2,959,933)
(うち特定資産への充当額)	(237,136)	(302,836)	(325,836)
正味財産合計	12,368,195	12,315,091	11,333,002
負債及び正味財産合計	12,549,636	12,486,411	11,522,914

2. 正味財産増減計算書（4月1日～翌年3月31日）

（単位：千円）

科 目	2021年度	2020年度	2019年度
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益	273,147	266,779	330,913
(2) 経常費用	356,913	342,968	358,142
評価損益等調整前当期経常増減額	▲ 83,766	▲ 76,189	▲ 27,228
基本財産評価損益等	623	451,081	▲ 115,320
当期経常増減額	▲ 83,143	374,893	▲ 142,549
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	▲ 83,143	374,893	▲ 142,549
一般正味財産期首残高	3,904,605	3,529,713	3,672,262
一般正味財産期末残高	3,821,462	3,904,605	3,529,713
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	136,247	607,197	▲ 293,346
指定正味財産期首残高	8,410,486	7,803,289	8,096,635
指定正味財産期末残高	8,546,732	8,410,486	7,803,289
III 正味財産期末残高	12,368,195	12,315,091	11,333,002

6. 2022年度

役員、評議員及び審査委員名簿

理事・監事・評議員・審査委員

〈2022年7月現在〉

理事・理事長（常勤）

秋本 芳徳

理事・専務理事（常勤）

守屋 学

理事（非常勤）

城所 征可	日本電信電話株式会社 経営企画部門 経営企画担当 担当部長
酒井 善則	一般財団法人日本データ通信協会 理事長 東京工業大学 名誉教授
岩村 有広	一般社団法人日本経済団体連合会 常務理事
舟田 正之	立教大学法学部 名誉教授
吉岡 圭一	株式会社みずほ銀行 情報通信・リテール第二部 次長
若杉 敬明	一般社団法人日本コーポレートガバナンス研究所 理事長 東京大学 名誉教授

監事（非常勤）

井坂 武彦

評議員

石井 義則	一般社団法人 情報通信ネットワーク産業協会 常務理事
坂下 欣吾	株式会社みずほ銀行 情報通信・リテール第二部長
下村 知叙	通信電線線材協会 専務理事
谷山 賢	日本電信電話株式会社 執行役員 経営企画部門長

審査委員会委員

[委員長]

廣松 毅 独立行政法人日本学術振興会
人文学・社会科学データインフラストラクチャー構築推進センター センター長
情報セキュリティ大学院大学 名誉教授

[委員]

依田 高典 京都大学 大学院経済学研究科 研究科長・教授
高畑 文雄 早稲田大学 名誉教授
多賀谷 一照 千葉大学 名誉教授
中村 雅子 東京都市大学 メディア情報学部 教授
広瀬 啓吉 東京大学 名誉教授 / 国立情報学研究所 特任教授
山中 直明 慶應義塾大学 理工学部 情報工学科 教授

表彰専門部会委員

浅見 徹 株式会社国際電気通信基礎技術研究所（ATR） 代表取締役社長
井手 秀樹 慶應義塾大学 名誉教授
植松 友彦 東京工業大学 工学院 情報通信系 教授
鈴木 秀美 慶應義塾大学メディア・コミュニケーション研究所 副所長 教授
大阪大学 名誉教授
高畑 文雄 早稲田大学 名誉教授
多賀谷 一照 千葉大学 名誉教授
廣松 毅 独立行政法人日本学術振興会
人文学・社会科学データインフラストラクチャー構築推進センター センター長
情報セキュリティ大学院大学 名誉教授
山中 直明 慶應義塾大学 理工学部 情報工学科 教授

電気通信普及財団レポート2022

発行者 公益財団法人電気通信普及財団
〒105-0003
東京都港区西新橋二丁目4番2号 西新橋安田ユニオンビル2階
TEL 03-3580-3414 FAX 03-3580-3488

発行日 2022年7月
URL <https://www.taf.or.jp/>
E-mail jigyoubu@taf.or.jp



公益財団法人 電気通信普及財団

〒105-0003 東京都港区西新橋二丁目4番2号 西新橋安田ユニオンビル2階

TEL 03-3580-3414 FAX 03-3580-3488

<https://www.taf.or.jp/>